

# 都市デザイン部門 優秀賞

## 「枕崎駅舎」



### ■概要

枕崎駅舎は、薩摩半島南部、枕崎市の中心市街地に位置する JR 最南端の始発終着駅である。

本駅舎は、老朽化した駅舎を取り壊し、ホームだけの無人駅になっていたものを、市民等の駅舎復活を望む声により、行政が市民と共に駅舎の再建計画を進め、全国で唯一、建設資金の殆どを民間寄付金により建築されたものである。

### ■講評

「来てよかった、レトロ感あふれる癒しとパワーを感じる最南端の終着駅」をコンセプトとして計画された枕崎駅舎は、外壁を地元の特産品である「かつお節」工場の壁の色をイメージして仕上げ、大相撲地元出身行司第 36 代木村庄之助筆による駅

の銘板を採用するなど、「枕崎」の特色を表した景観を形成している。

また、駅舎正面ポーチの赤石や、駅舎内外部の仕上げに使われている木材には、地場産材が使われており、地域性を高め、親しみ深い場所となっている。

一方、正面には空地も見られるが、枕崎駅舎の建設を機に良好な景観形成がなされることを期待したい。

完成年度：平成 25 年度

所在地：枕崎市東本町 23 番地 5

所有者、管理者等：枕崎市

設計者：鹿児島県建築士会南薩支部

施工者：森建設（株）

# 「鹿児島県立奄美高校・奄美図書館」



図書館正面



奄美高校正面



高校正面と図書館

## ■概要

奄美地域の高校再編と県立図書館奄美分館の移転に合わせて、奄美高校に奄美図書館を隣接させる形で計画されたものであり、中心市街地から島南部へ向かう幹線道路沿いに建築されたものである。

## ■講評

本施設は、奄美の伝統的な舟をイメージした特徴的なファサードを持つ奄美図書館と新設された奄美高校により形成されている。道路に面した図書館は、視認性の優れた色彩で仕上げられており、特徴的なファサードと合わせて、奄美のまちなみ景観をリードするものである。

また、高校は背後にある「おがみ山」の木々の

緑や周囲に広がる住宅地のまちなみとの調和に配慮し淡い色彩としている。タイプの異なる隣接した2つの施設により作られた景観は、復帰60周年を迎えた奄美の新たなスタートにふさわしいものを形成している。

完成年度：平成 21 年度

所在地：奄美市名瀬古田町

所有者、管理者等：鹿児島県

設計者：下舞・畠中・堂園・YU プラン設計共同企業体

施工者：

【奄美図書館】

竹山・伊藤・共栄特定建設工事共同企業体

【奄美高校・特別教室棟】

前田・米盛・勇特定建設工事共同企業体

【奄美高校・産業教育実習棟】

前田・政特定建設工事共同企業体

【奄美高校・渡り廊下】 友原建設（株）

【奄美高校・外構】

（株）中村建設、（株）瀧緑地建設